# 南信州広域連合第４回広域連合会議　結果報告

日時：令和５年７月 19 日(水)　16：10～17：00
場所：県飯田合同庁舎 301 号会議室(講堂)

【出席者】14 市町村長、副管理者
〔飯田市産業経済部〕今参事
〔(公財)南信州・飯田産業センター〕遠山事務局長
〔南信州地域振興局〕丹羽局長
〔飯田建設事務所〕唐澤所長
〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長
〔飯田広域消防〕北澤消防長、新井総務課長、中本予防課長
〔環境センター〕飯田事務長
〔事務局〕吉川事務局長・小椋事務局次長
壬生広域振興係長・伊藤庶務係長・久保田庶務係主査・宮﨑庶務係主事

１　開会…16：10

２　広域連合長あいさつ

７月５日に飯田創造館の利用者、長野県及び広域連合の３者による協議の場の第１回を開催した。その中で、今後の進め方等について協議を行い、前に進むきっかけが得られたと思う。広域連合からは、広域連合所有の旧地場産業センターを活動の場として使用することを提案している。今後具体的にどうするかについて、７月中に第２回目の協議の場を計画している。２回目の協議の場の前に、現場を見に行きたいという提案があった。少しでも話しが前に進む状況になってきている。

７月９日は信州大学の誘致推進協議会があり、これまで情報系の人材育成をする新学部を誘致の対象に考えていたが、そこにこだわらず、少しレンジを広げて考えて、この地域で取り組んでいるグリーントランスフォーメーションといわれる分野に拡大して、信州大学との連携を深めていこうという話をして、総会では承認をいただいた。これからも機運が下がらないように、しっかり活動していきたい。

３　協議・報告事項

(1) 産業振興と人材育成の拠点(エス・バード)の管理・運営状況について

【(公財)南信州・飯田産業センター　遠山事務局長】～資料№．１～

ア 管理業務の実施状況

「南信州広域連合産業振興と人材育成の拠点条例」に定める拠点の設置目的に沿って、指定管理者が行う業務に取り組んできた。令和４年度は前年のような新型コロナウイルスによる利用制限がなかった状況の中で、感染対策を講じながらも、利用を促進していく１年となった。

イ 利用状況

令和４年度の利用者は 32,970 人であり、令和３年度の 33,748 人と比較して横ばいではあるが、令和３年度には新型コロナウイルスによるワクチン接種による利用も計上されているため、実質の利用人数は増えている。しかし、コロナ前の令和元年度に比べると利用者数は半分であるため、今後もしっかりとＰＲをして利用促進に努めたい。

ウ 施設使用料について

施設使用料収入は約 23,720 千円で前年度比 13%減少となっているが、利用状況に比例しての使用料は伸びていると認識している。

エ 管理に係る経費の収支状況

南信州広域連合からの指定管理料及び施設利用料等により概ねの経費は賄うことができた。昨今、の光熱費の高騰については、産業センターの運営にも大きな影響があり、今後の課題である。

オ 施設、設備及び備品の管理状況

年に１回備品確認を行っており、施設及び備品等による苦情はなかった。

カ 個人情報の保管の状況

個人情報については施錠できるキャビネットに収め、適切に管理している。

キ 利用者からの意見

利用者には都度アンケートの回答を頂いており、「利用しやすい」「対応が丁寧」「環境が良い」というお声を頂いている一方で、もう少し案内をしっかりとしてほしいという要望も出されている。

ク 施設運営に関する指定管理者の評価

自主事業のほか、関連機関と連携し、設立の目的に従った成果を上げることができたものと評価している。

ケ 産業センターの主な取り組みについて

・信州大学関連

航空機システム共同研究講座が７年目に入っており、第２期が令和６年度までとなっている。これまで、19 名の学生が修了しており、県内外で活躍している。

ランドスケープ・プランニングについて、令和４年度は令和５年４月に開校するための準備を行ってきた。地域で運営を支援するための組織を作っているが、コンソーシアムで必要な運営経費を確保することに取り組んできた。総額で約１億 2000 万円弱必要となるところ、会員の皆様から約 8,000 万円を寄付して頂いた。

・飯田工業技術試験研究所の運営状況

環境試験機器の活用と促進を図るため、部門長を置くとともに、試験オペレーターを新規に採用し、認定試験所としての体制強化に取り組んだ。

・ その他の事業

次世代空モビリティ分野への取組

地域資源を活用した商品開発のためのプラットフォームの構築

ワーキングスペースの機能拡充

（主な意見等）

阿智村：信州大学関連で航空機システム共同研究講座について、学生が修了して５年が経つので、住民の方々が５年間の成果を知ることができるよう工夫していただけるとありがたい。

施設の会議室等の利用について、以前は企業がセミナーや商品の展示会等を行っていた。現在も行っているとは思うが、頻繁に行われているのか。

遠山事務局長：情報発信についてはエス・バード通信を含め、マスコミも一緒になって、住民の方々へ知っていただけるように努めていきたい。

施設利用については、コロナによる制限が緩和され、企業の活動も戻ってきている中で、ホールについては、密に利用されており、展示会についても頻繁に行われている。

連合長：信州大学関連のエス・バードでの活動状況については、信州大学誘致協議会でもＰＲが必要。

泰阜村：施設の利用料金と利用時間について、準備及び片付けの時間まで利用料金の算出に加算されているという話を聞いた。きっちりやることは良いが、住民のみなさんから敬遠されているのではないかとイメージした。あまりシビアにやらない方が良いのではないかと思う。

遠山事務局長：産業センターの利用規定に基づいて行っている。時間の枠の中で利用することが原則となるが、状況を聞く中で、利用者の負担にならないようには考えている。臨機応変に対応していきたい。

⑵ 創造館閉館への対応について　【事務局長】

令和５年７月５日(水)に第１回協議の場が開催され、利用者団体の代表の方々と話し合いの場を設けた。厳しい意見もあったが、まずは提案した施設の現地を見てイメージを共有するところから始めたいという前向きな意見も頂いた。7月23日(日)10時からと7月27日(木)16時から現地見学会を行いたい。県の方からは既に通知が発出されている。7月27日17時30分から現地見学に引き続いて第２回協議の場を開催予定。

協議の場については、利用者団体から10名、長野県から文化政策課長、広域連合からは吉川事務局長、飯田市生涯学習スポーツ課長が参加している。

(質疑なし)

⑶ 信州大学新学部誘致の取組について　【事務局長】～資料No. ２～

令和５年７月９日(日)に信州大学新学部誘致推進協議会の総会を開催した。議案についてはすべて承認を頂いた。併せて講演会が開催され、日本政策投資銀行竹ケ原先生に講演を頂いた。

(質疑なし)

⑷ 「介護のしごと相談会」開催報告について【事務局次長】～資料No. ３～

広域連合として初めての開催であり、介護事業者と介護人材のマッチングを目的としている。

日時：令和５年６月10日(土)　①10時00分～12時00分　②13時00分～16時00分

会場：エス・バード

出店事業所：介護事業所　26施設

協力団体　　２施設(ハローワーク、長野県社会福祉協議会)

来場者数：　29名

相談総数：　76件

※次回、12月上旬に開催予定。

(主な意見等)

連合長：アンケート結果を見る限り、前向きな意見を頂いている。具体的に就職等に繋がっているかは、追跡調査を今後行っていかなければわからないが、手応えは感じている。広域連合として、12月にまた開催予定であるため、各市町村でもPRに協力して頂きたい。

⑸ 南信州ナンバープレート導入の取組について【事務局長】～資料No. ４～

令和５年６月中に応募を締め切った図柄入りナンバーのデザイン案の応募状況について、338 点の応募があり、青年会議所で開催した小学生図柄コンテストの優秀作品20点を加えた358点の中から候補作品を絞っていきたい。

応募者の内訳として、各学校の授業や美術系の部活動の一環で取り組んで頂いたところもあった。多くの方々に南信州を映像として考える貴重な機会になったと感じている。

８月中には最終的な候補作品の絞り込みが行えるように取り組んでいきたい。

(主な意見等)

連合長：住民投票に付す作品の数はいくつくらいを想定しているか。

事務局長：目安として５点を考えている。審査の中で増減はあり得る。

(6) 飯田広域消防本部から【予防課長】～資料No. ５－２～

ア 令和５年および令和４年の火災発生状況について

７月 13 日８時 00 分現在の火災発生状況は 45 件となっており、昨年同日比で同件数となっている。たき火等屋外での火の取り扱いに起因する火災は 19 件となっており、昨年同日比で６件減少している。飯田広域消防では広報や防火講話を引き続き実施するとともに、状況により市町村と連携した注意喚起を行い、発生防止に努める。

イ 熱中症疑いによる救急搬送の状況について【総務課長】～資料No. ５－１～

調査開始から７月 13 日までで 34 名が熱中症疑いで救急搬送されている。前年同日比 18 名減となっている。

今年度も梅雨明け後、暑い日が予想されることから、熱中症警戒アラートが発令された場合、市町村の協力のもと、防災行政無線を利用した熱中症予防広報を実施して行きたい。

高齢者の熱中症疑い搬送が増加したことから、老人福祉施設等を通じ、熱中症予防リーフレットの配布や店舗等における、消防職員による街頭での熱中症予防広報を実施する。

ウ 消防連絡車の更新について～資料No. ５－３～

令和５年６月に消防連絡広報車(軽自動車) ２台が納入され、６月 30 日から運用開始している。車両は阿南消防署及び阿南消防署和田分署へ配置している。軽自動車を配置することで、狭隘な山間部の消防車両では進入が困難な場所への進入が容易となる。

(質疑なし)

(7) 後援依頼について【伊藤庶務係長】～資料No. ６～

ア 第８回みなみ信州駅伝

期　日：令和５年 12 月３日(日)
場　所：飯田市総合運動場とその周辺道路
主催者：公益財団法人飯田市スポーツ協会
共催者：信濃毎日新聞社、中日新聞社、南信州新聞社、下伊那郡体育協会
→　異議なし。承認となる。

イ 第 49 回全日本天竜川カヌー競技大会

期　日：令和５年８月 27 日(日)
場　所：天竜川万年橋付近から弁天港付近
主催者：長野県カヌー協会、高森町
→　異議なし。承認となる。

ウ 令和５年度南信州地域資源活用商品開発オープンイノベーションプラットフォーム構築事業

南信州地域に多数存在する地域資源について、産業の立場からより一層の活用を図るとともに、産学官民の連携・協働により、地域ブランドの創出・イメージ高揚に繋がるオープンイノベーションを実現するための地域社会の基盤を構築しようとするもの。

他の後援団体：飯田市、飯田商工会議所、長野県商工会連合会南信支所、㈱南信州観光公社
→　広域連合長決裁にて承認済みのため報告のみ。

(8) その他

長野県議会危機管理建設委員会現地調査時の陳情について【事務局長】～資料No. ７～

日時：令和５年７月 13 日(木)　９時 30 分～10 時 20 分
会場：飯田合同庁舎 301 会議室(講堂)

過日行われた長野県議会危機管理建設委員会現地調査時の陳情の概要について説明。

４ 長野県から

⑴ 南信州地域振興局

県の新しい総合５か年計画が４月にスタートし、県の全体計画の概要版及び将来の計画を掲げたビジョンブックを５月中旬に送付した。地域計画をわかりやすくするための普及版を作成した。

⑵ 飯田保健福祉事務所

５月８日に５類となって以降、保健所へ上がってくる情報は少なくなっている。断片的に捉えている情報では、毎週この地域は約 300 人が陽性となっている。病床は約 50 床の内 30 床が埋まっている。

５ 閉会･･･17 時 00 分